

500年続く神事能「黒川能」のシンガポール公演が実現！

～外交関係樹立60周年を記念し、鶴岡市が誇る重要無形民俗文化財を海外へ～



国際交流基金（JF）は、日本・シンガポール外交関係樹立60周年を記念し、シンガポールの国立舞台芸術施設「エスプラネードシアターズ・オン・ザ・ベイ」が主催するフェスティバル「A Tapestry of Sacred Music」において、日本の重要無形民俗文化財である山形県鶴岡市の黒川能の公演を行います。世界各地の神事芸能や宗教音楽が集う本フェスティバルにおいて、黒川能が注目される公演の一つになるであろう、またとない機会です。

また、公演に加え、ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）においてレクチャー・デモンストレーションも実施。能をはじめとする日本の舞台芸術に造詣の深いシンガポール国立大学（NUS）日本研究学科長のリム・ベンチャー氏を講師に迎え、実演を交えながら、地域コミュニティに根ざした「神事能」としての精神性や様式美を紐解きます。

500年以上にわたり人々の信仰心と能楽への愛着によって守り継がれてきた黒川能の魅力を通して、両国の文化交流がさらに深まることに期待します。

本事業は、日本・シンガポール外交関係樹立60周年（SJ60）記念認定事業であり日本とASEANの次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化のWA2.0－」の一環として行います。



SINGAPORE - JAPAN
DIPLOMATIC RELATIONS
1966 - 2026

【黒川能シンガポール公演】

開催日程：2026年4月30日（木）22:15 開演 エスプラネード コンコース 演目「猩々」

2026年5月1日（金）20:45 開演 エスプラネード コンサートホール 演目「羽衣」

（すべて現地時間 公演前にトークイベントを実施予定です）

チケット：入場無料（詳細は「A Tapestry of Sacred Music」の公式ウェブサイトでお知らせします）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

主催：エスプラネードシアターズ・オン・ザ・ベイ
共催：国際交流基金
協力：公益財団法人黒川能保存会
後援：在シンガポール日本国大使館

【レクチャー・デモンストレーション】

開催日程：2026年4月29日（水）
会場：ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）
出演者：黒川能 上座
演目：仕舞「難波」
講師：リム・ベンチャー（シンガポール国立大学（NUS）日本研究学科長）
主催：ジャパン・クリエイティブ・センター
共催：国際交流基金
協力：公益財団法人黒川能保存会

黒川能について

黒川能は、山形県鶴岡市黒川にある春日神社の「神事能」として、氏子たちによって継承されてきた。この能楽は、世阿弥が大成した後の猿楽能の流れをくみ、現在の五流（観世・宝生・金春・金剛・喜多）と同系であるが、いずれの流儀にも属さずに独自の伝承を続け、演式、演目などに古式を残していると言われている。

黒川にどのようにして能楽が入ってきたのか、まだ究明されていないが、江戸時代のはじめには、すでに能太夫がいたことや能楽の維持に難渋をきたしていることが記録され、また、室町時代に織られた能装束（三領、国重要文化財）が残っていることなどから、少なくとも室町後期 1500 年には定着したものと考えられている。

約 240 戸の春日神社の氏子が、上座と下座の二つの座に分かれて能座を形成しており、それぞれの座は能太夫でもある座長を中心に、能役者は舞方、囃子方、狂言方を含め、子どもから長老まで約 150 人、能面 250 点、能装束 500 点以上、演目数は能 500 番以上、狂言 50 番と、民俗芸能としては非常に大きな規模となっている。500 年以上にわたり、黒川の人々の信仰心と能楽への愛着によって、幾多の困難をも乗り越えながら今日まで守り伝えられ、昭和 51 年 5 月 4 日には、国の重要無形民俗文化財に指定された。

現在は、各祭礼において奉仕、奉納上演の他、黒川能保存会を通し依頼を受けて、海外や全国各地で公演も行っている。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

国際交流基金について

国際交流基金（JF）は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

本事業は、JF が推進する「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施されます。

このプロジェクトは、2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流を展開しています。

日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/> では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp